

令和8年度 福井大学医学部看護学科学学校推薦型選抜 I 試験問題

小論文 A

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまでこの冊子を開いてはいけない。
- 2 解答は必ず解答用紙の所定の欄に記入すること。
所定の欄以外に記入したものは無効である。
- 3 解答用紙は持ち帰ってはいけない。
- 4 問題冊子及び下書き用紙は持ち帰ってよい。
- 5 解答にかかる前に必ず受験番号を記入すること。

以下の文章を読み、各設問に答えなさい。

著作権の都合上、この部分は公開していません。

(出典：山本健人，すばらしい人体◆あなたの体をめぐる知的冒険◆，ダイヤモンド社，2021年，p. 204-206 より抜粋)

<語句の注釈>

注 1)

開放骨折：骨折した際に骨が皮膚を突き破って体外に露出した状態を指す。骨折部に細菌が侵入しやすく、感染を引き起こすリスクが高まる。

注 2)

瘴気：熱病を起こさせるという山川の毒気。この考えは、古代ギリシャのヒポクラテスが提唱した「ミアズマ説」に由来し、病気の原因は「悪い土地」「悪い水」「悪い空気」にあるとされ、この「悪い空気」が瘴気にあたる。

問 1 課題文で述べられている、リスターが医師になった一八五〇年代当時の医療現場における不衛生な状況を、本文の記述を参考に 3 つ挙げなさい。

問 2 課題文で述べられている、リスターが開放骨折の少年に行った治療と、その結果が示したことについて、本文の内容を踏まえて 80 字から 100 字で説明しなさい。

問 3 上記文章全体を踏まえ、リスターの功績から、現代看護において科学的根拠に基づいた感染予防が重要である理由について、あなたの考えを 350 字から 400 字で具体的に述べなさい。

下書き用紙

